

令和5年第2回大河原町教育委員会定例会会議録

1 招集日時 令和5年2月15日（水） 午後2時00分

2 招集場所 大河原町役場 4階 委員会室

3 出席委員 舟山幸枝委員、一盃森広志委員、丹羽宜博委員、小山明子委員、鈴木洋教育長

4 説明のため出席した者

佐藤勝弘 教育総務課長、木村武俊 生涯学習課長、山家一博 学校教育専門監

5 開 会 午後2時00分

6 令和5年第1回教育委員会定例会会議録の承認について

鈴木教育長 | (委員全員に諮って) 承認する。

舟山委員、小山委員 署名。

7 教育長報告

(1) 一般事務報告

報告第2号 大河原町教育振興基本計画の策定に係る答申について

教育総務課長より説明 異議なし

(2) 専決事務報告

報告第1号 専決処分の報告について

(令和4年度大河原町一般会計補正予算(第12号))

(工事請負契約の変更契約の締結について)

教育総務課長、生涯学習課長より説明

丹羽委員 | パークゴルフ協会は今までどこで活動していたのか。

木村生涯学習課長 | 角田などのパークゴルフ場で活動。会員は80名ほどで、大河原だけでなく近隣の方も会に加入している状況。

丹羽委員 | 協会に入らないとパークゴルフはできないのか。

木村生涯学習課長 | どなたでも可能。道具などもレンタル可能。1ホール20分くらいで運動靴でも大丈夫。夏以降オープンの計画。

一盃森委員 | この度の工期の延期について。今後順調に進んでいくのか心配である。

木村生涯学習課長 | 3月までにパークゴルフ場整備。ドックランも完成している。今後、千本桜スポーツパークに関しては、来年度以降、本格的に整備していく。

8 議 事

議案第3号 県費負担教職員の異動等の内申について（非公開）

鈴木教育長 | （委員全員に諮って）可決する。

議案第4号 大河原町教育委員会個人情報保護条例施行規則の廃止について

鈴木教育長 | （委員全員に諮って）可決する。

9 その他

（1）教育長報告（校長会資料による報告）

1 「恩師のコトバ」（宇賀なつみ）

中学生の時に、いたずらやいじめに遭い、担任からの言葉で勇気付けられた話。どのような方でも、良い心があるという助言。人に寄り添う気持ちを大事にする。

2 大河原小学校学力向上公開研究会

（1）公開研究会の様子

（2）大河原小学校算数科公開研究会から学ぶ

（3）大河原小公開研究会授業者が語る「対話的学び」

大河原小学校公開研究会の様子を説明。この大河原小学校の「対話的学びを通して、深い学びを実現する」授業を、町内他の小中学校でも取り入れてほしい。

また、実際に授業を行った先生の感想や意見は、大事なことを私たちに沢山教えてくれる貴重なものである。

（4）「GIGAスクール構想のもとでの算数科の指導」（笠井健一）

I C T端末がネットワークにつながれていることでの良さを綴った話である。

3 学びに向かう力

（1）回復共同体・修復的対話というアプローチ（坂上香）

アメリカの修復的対話を取り入れている学校では、問題を放置することで損害が広がり複雑化することがあるため、早い段階で対話を行う。背景まで見て多角的に対応する必要がある。学校で行う場合、三つの視点が必要。①目の前の問題に気付く、対応すること。②問題を解決するのは先生ではなく子供たち本人であること。③問題には背景があること。生徒指導問題の対応として大いに参考になる内容である。

(2) 『僕に方程式を教えてください』(高橋一雄他)

少年院に入っている少年に数学の授業をとおして社会復帰させる内容。「対話的学び」は非常に重要。私たち教育者は、誰一人取り残すことのない教育を目指す必要がある。

4 部活動

(1) 『部活動学』(神谷拓)

部活動指導員を活用する上で大切なことは、教員、生徒、部活動指導員で話し合い、その守備範囲を明確にしながら生徒自身が課題を解決する機会を奪わないことである。

(2) 『仙台育英日本一からの招待』(須江航)

選手とのコミュニケーションが大切。日本一を目指すための10個のマインド。
・自分を裏切らないこと
・挫折のない人生は存在しない
・人の喜びや悲しみを共有できる人間になること
・誰のせいにもしないことなど、素晴らしい道德教育である。

(3) 「理念」のない組織に成長なし(須江航)

小中学校の志教育を中心とした教育の在り方について示唆しているように思う。

5 「一目千本桜」植樹100周年

各学校では、これまでも実践されているとは思いますが、100周年という節目の年に、「みやぎの先人集 未来への架け橋」や同朗読DVDを活用して、道德の授業として取り上げていただきたい。

6 人事について(予定)

教職員の異動について3月25日(土)朝刊にて発表。

7 その他

資料に基づき連絡事項・授業・行事・式典・発表会・会議等の説明。

丹羽委員	大河原町教育振興基本計画の教育長の話。この中で、大河原町の小・中学校に在籍する約2000人の子供たちが、自分で問題を見つけ解決方法を考え、生き抜く力を身につけていくことができるようにすることが、私たち教育委員会に求められる最も重要な仕事であると考えています。とある。まさに、対話的教育で、如何に重要であるかが分かる。
------	--

鈴木教育長	<p>教育長報告の P40。教科外の活動の意義。一番挙手があったのは部活動。つまり、一番影響があったのは、受験などに直接関係のないもの。自ら行動するものが人間形成に大きな影響を与えたと記述されている。対話的学びは非常に素晴らしいと資料の中からも読み取れる。</p> <p>分からない子に教える側の心の内にどのような思いがあるのかが大事。対話的学びの中で、お互いの精神も豊かに高め合う教育の場が大切である。お互いに尊重し、認め合うのが大事。相手のことを考えながら発言したり行動したりできれば、とても良い学級になると思う。</p>
丹羽委員	<p>P55 高山開治郎の話。ぜひ、大河原の素晴らしい桜を子供たちにも感じてほしい。</p>
舟山委員	<p>大河原小学校の公開研究会。授業が素晴らしい。どの先生も、自信が付いている。すべての先生に経験してほしい。</p> <p>部活動の件。部活動の指導について、指導者の資格を持った人は安心して任せられる。資格取得の研修など、国でも費用負担などあれば良い。</p> <p>運動部だけでなく文化部も大事。子供たちが文化部で、より高度な技術を学ぶために、文化部指導者育成の手立てがあれば良い。</p>
一盃森委員	<p>大河原小学校の公開研究会。今後、どのような形で成果を出していくのか。実際に先生方が意見や協議をして進めていくのに勝るものはない。各先生方が対話的学びについて振り返られた重み、3年間考えて子供たちと向き合ってきた思い。校内研究はここが大切なのだと思う。</p> <p>対話的学びについて、授業論や方法論で捉えるのではなく、指導者の在り方。教員として子供たちに向かう時の在りようで、対話的学びとしてどう捉えるのかが大事。</p> <p>テストの結果の話。対話的学びを通して、話すことや聞くことが低い子供たちの力が伸びていくと良い。課題に対して論理的に話したり、聞くことができるよう、対話的な活動をさせるよう先生方は意識すると良い。</p>
鈴木教育長 小山委員	<p>対話的学びをしっかりやっている学級は、国語の力も身に付く。</p> <p>対話的学びの授業を観させていただき、3人組で話すのがとても良いと思った。対話的学びが当然の授業として続けてほしい。</p>
丹羽委員	<p>受刑者の話。子供の虐待などが原因での犯罪。教育がとても大事。どんな環境でも見捨てないのが大事。</p> <p>宇賀さんの、大人になったら付き合う相手も環境も自由に選べるという話。不登校の子や保護者に、大きくなれば何とかなるという事を知っていただき、子どもの背中を押して育ててほしい。</p> <p>虐待の話で、虐待を受けた子は多重人格になるという話がある。このような被害者が出ない社会にならないといけない。</p>

(2) 各課長報告

教育総務課長、生涯学習課長

令和5年度計画、行事予定について説明。

学校教育専門監

令和4年度大河原町標準学力調査 児童生徒の学力の状況について説明。

令和4年度全国体力・運動能力調査結果について説明。

- | | |
|----------|--|
| 一 盃 森 委員 | 全国体力・運動能力調査結果。金ヶ瀬小学校が運動の好きの割合が低いのは、体育館が使用できなかったのが原因なのか。体を動かす機会が少なかったからなのか。 |
| 山 家 専門官 | 多少は影響があるかもしれないが、例年、金ヶ瀬小学校は低い傾向である。 |

10 次回教育委員会の開催日程について

鈴木教育長 | 次回の定例教育委員会は令和5年3月23日(木) 午後2時から開催する。

11 閉会宣言 午後4時05分

令和5年3月23日

署名委員

署名委員